

鍋敷

◎ご使用に際して

- ・この鍋敷は錆を防ぐため、酸化被膜をつくる「窯焼き」と、漆を塗って焼く「焼付漆」が施されていますが鉄の性質上、使用を重ねるうち、自然に錆が生じます。錆に触れると汚れる場合がありますので、置き場所やお取り扱いにご注意ください。煎茶に浸し絞った布で磨くと錆を防ぐこともできます。
- ・熱い鍋などを置きますと鍋敷に熱が伝わり、鍋を外した後も熱が残ります。また、火のそばに置きますと、熱を持ちしばらく熱い状態が続くことがあります。完全に冷めるまでは、乾いた布巾などを当て、素手では触れないてください。
- ・脚裏についているチーク製の丸棒は、鍋敷と接地面との接触、熱の伝わり方をやわらげますが、接地面を傷つけたり、熱が伝わることで焦がしたりする可能性があります。置き場所やお取り扱いにご注意ください。
- ・落下や強い衝撃を与えることは、鍋敷が割れる原因になりますのでご注意ください。また、急冷することも割れやヒビが起る原因となります。熱くなった場合は、水などをかけるのではなく、自然に冷ましてください。
- ・濡れた場合は、乾いた布で水分を拭き取ってください。水分を付着したままにしますと錆が出やすくなります。また水分は脚についているチーク材を腐食させる原因となりますので、よく乾燥させてください。
- ・長い間使わずにしまう場合は、本体が完全に乾いた状態で布に包み、湿気の少ないところで保管してください。湿気の多い場所に置いておくと錆が発生する恐れがあります。

製品には万全を期しておりますが、万一不具合などお気づきの点がございましたら、ご購入店、または左記までご連絡ください。

東屋

〒一五〇一〇〇三三

東京都渋谷区猿樂町五一十四 #二〇六

〇三ー六四三三ー七九八二

contact@azmaya.co.jp

www.azmaya.co.jp

素材／鑄鉄・漆・チーク 一産地／岩手県水沢 一製造／及富 ⑩ 一原型／金子哲郎 TK

デザイン／猿山修 ▽ 一制作／東屋 ⅢⅢ